

「江別市景観形成基本計画」の概要

江別らしい景観づくりの「道しるべ」

まちの景観は、市民共有の大切な財産です。私たちは、『江別らしい景観』をみんなで守り、育て、次世代へ引き継ぐことが必要です。「江別市景観形成基本計画」を、皆さんが今後取り組まれる景観活動の道しるべとして利用していただき、より良い『江別らしい景観』を目指しましょう。

景観づくりのテーマ ～ 人と自然が織りなす江別らしい景観を子供たちへ ～

景観の将来像

魅力のあるまちには美しい景観があり、住み続けたいくなるまちには落ち着いたどこか懐かしさを感じるあたたかい景観があるものです。

そのようなまちの景観を維持・創出するために、下記に示すような、地域の特徴に応じて“ほっ”とする景観のあるまちを目指しましょう。



まち全体の景観

暮らしていて“ほっ”とする景観のあるまち

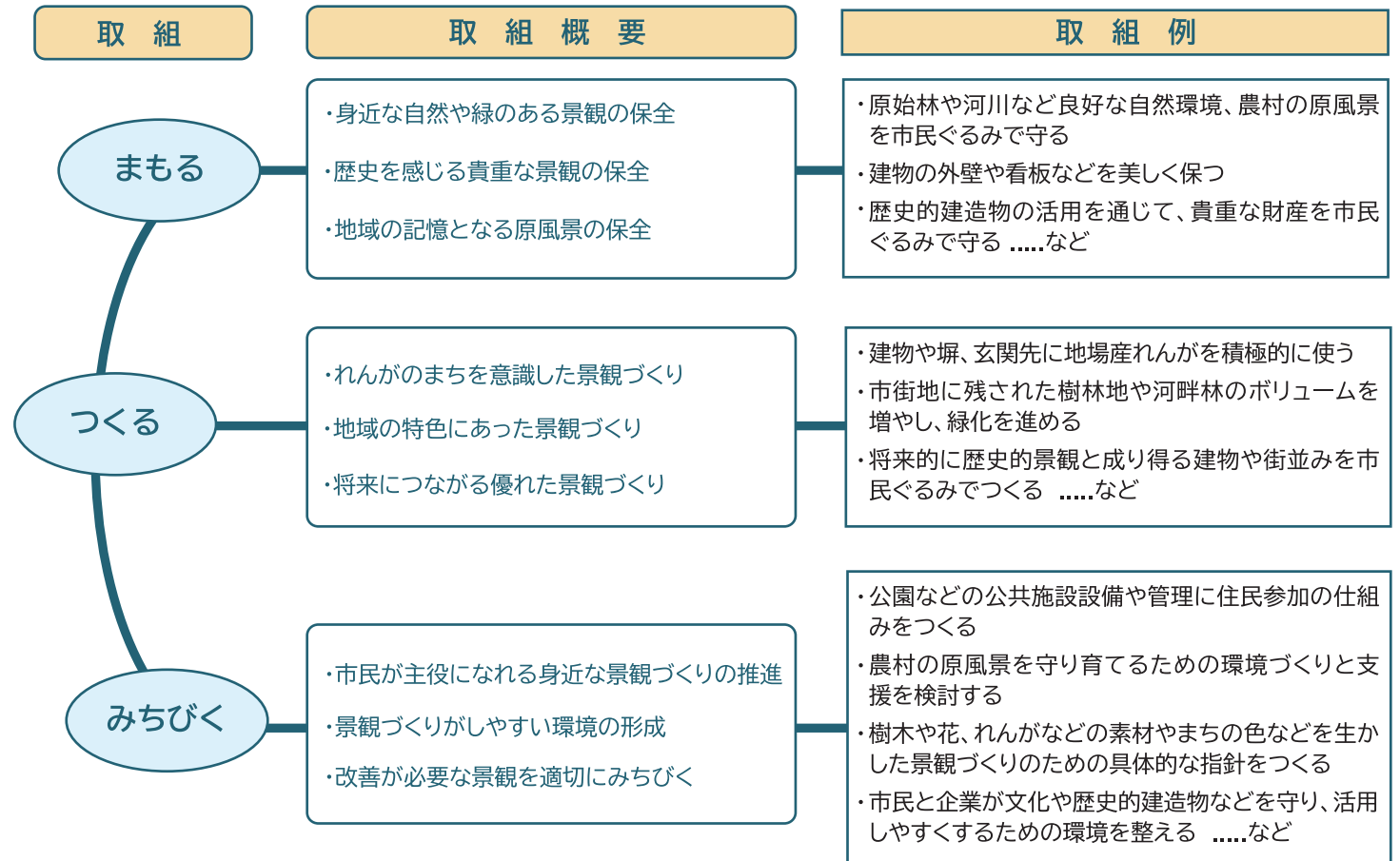
江別らしさである「自然」「原風景」「れんがの温かさ」を感じる、人にやさしく暮らしていて“ほっ”とする景観のあるまちを目指しましょう。

まちの要素	将来像	イメージ
住宅地	「暮らし続けたい」と感じる景観 市民の皆さんにとって最も身近な住宅地は、れんがや緑、花に囲まれ、やすらぎがあり、暮らし続けたいと感じる景観を目指しましょう。	・住宅や塀にれんがが利用され、緑に覆われた庭で、暮らしている人々は、花壇づくりなどにれんがを手に取り汗を流す光景が見られます。
人が集まる場所	「にぎわい」と「魅力」がある景観 まちの顔である駅前や商店街は、外観を凝らした建物や植栽などによる彩りがあり、にぎわいと魅力ある景観を目指しましょう。	・古いれんがの建物を活用した歴史感ある街並みや店構えにれんがや植栽が施されています。 ・大型店舗は周囲の景観と調和された地域のシンボルとなっています。
工場などが集まる場所	「地域や自然と調和」した景観 工栄町や西野幌の工業団地は、周辺にある河川や野幌森林公園などの緑豊かな特徴を活かし、地域や自然と調和した景観を目指しましょう。	・工栄町の工場は、周辺の河川などの自然環境を意識した緑化などが行われています。 ・西野幌の企業は、後背にある野幌森林公園に調和したものとしています。
公共施設	「江別らしさ・シンボル性・親しみ感」のある景観 江別の景観づくりを先導する公共施設は、市民に親しまれる地域の拠点として、江別らしさ・シンボル性・親しみのある景観を目指しましょう。	・れんがを使用した市の施設や学校、病院は、地域のシンボルとなっています。 ・れんがや緑が調和された公園では、大人から子供まで親しまれる景観となっています。
農業地域や自然のある場所	「原風景」のある景観 農村景観や野幌森林公園、石狩川といった豊かな自然を活かし、住宅やサイロなどの建造物と調和のとれた原風景のある景観を目指しましょう。	・郊外に出ると、まち中とは一変して農村風景や野幌森林公園、石狩川が見え、のどかで四季折々の変化が見られる原風景を楽しめます。

～ つくろう！ふるさと江別の絵になる風景 ～

景観を「まもる」「つくる」「みちびく」取組

景観を「まもる」「つくる」「みちびく」という取組で、江別らしい“ほっ”とする景観を目指しましょう。



わたしたちの役割

これらの取組を行う上で、市民や事業者のみなさんと行政が協力し合いながらそれぞれの役割に応じて進めていき、人と自然が織りなす江別らしい“ほっ”とする景観をつくり、子供達へ残しましょう。

